

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしづらと感じたことに関する意見

No.	意見
1	地域で障がい者に対する意識や知識が足りない 障がい者が生き生きと暮らせる町づくりが行えない。 財政が厳しく理想的な事業が行えない。
2	サービス、資源が少ない。
3	●作業所の状況を視察して現状の把握に努めて環境の改善を進めてほしい。 ●障害者(身体、知的、精神)の夜間、休日等の緊急診察(入院を含む)など医療体制の確立と広報活動による周知方をお願いします。
4	社会資源の少ない中で、協力体制が不十分であるのが日々感じています。当事者が困って近くに相談しても解決に至らず、最終的に調整会議を持つ前に、当事者のことを知っていて決めつけた話が進められることで、協力を得られないことが多々あります。
5	施設内の苦情については、処理委員会が設置されて対応されるようになってきているが、施設外で生活している人たちは苦情を受けてくれる窓口のあることはよく知られていないことや知っていても相談に行けない(受けにくい)ことが多い。
6	3障がいの一つである精神障がい者への交通費の支援がないのはなぜ?
7	精神障がい者の手帳の扱い方で、身体や知的の方のみ手帳は通過するが、施設によってはまだ精神障がいはNO扱いするところがあります。徹底してほしいです。
8	障がい者の家族は高齢化、経済的弱者、病弱が共通の観点である。だから、特別の支援を地域につくる必要を感じている。特に精神に障がいのある方の親は大きな支援を必要としている。
9	相談も大切だが、施設から地域に向かうことを希望した際、重度障害者にとっては所得保障がされないと困難である。また、活動の場や住む場所が選択という限られてしまっていると、相談でもってそれ以上には進めない現状にあると感じる。
10	これからの地域に出るためにいろいろなことがあると思うけど、自分から言ってみたくと思います。
11	精神障がいだというだけで、ハローワークの職員の態度ががらりと変わった。
12	移動サポートが受けにくい
13	道路、段差
14	文字放送が少ない。(例)JRが遅れる。何番線で発車する等が放送で流されるが、聴覚障がい者には聞こえないため分からない。
15	店員も障がい者についての知識を身につけてほしい。
16	障害を持って資格を取得できるので、その講習や研修のとき、手話通訳を保障してほしい。(例)介護支援専門員等
17	うちの子は日頃からおかしな発言をしたり、おもしろい行動をとったりします。ですから、日々そんな目で見られる事があります。でも、周囲の変な視線にも慣れてしまったのか日々楽しく暮らしています。まあ気にしていたら外には出られないし、子どもに社会経験もさせられないので、そういう事を感じていたとしても、それに打ち勝つ心を持つ方法があるといいのかもしれないですね。
18	サービスを受けると、お金が沢山かかり生活づらい。
19	生活保護を理由にアパートの契約を断られた
20	知的障がいを持つ中学男児の母親です。障がいがあるということによりあからさまな差別はないかもしれませんが、知的障がいという特性上、はためには何ら変わらない。でも、少し目をとめてみると、やはり違う。そのため、身体障がいの方と比べると随分と「申し訳ありません」「すみません」を繰り返してきました。こうやって、同じ障がい者といわれる中にも違いが多く、自分自身もあっちの方がいいかと思ってしまう…。こんな風な考え方になりたくない。どんな人もみんなが地域で平和に自分らしく暮らせるような仕組み、理解を求めます。
21	困っていることがあっても、それを伝えることが出来ないのが現状だと思います。
22	行政の福祉担当者が障がいの理解があまりなく、当事者が相談しづらいという意見があった。
23	特にないが、地域の方々が障がい者と向き合ったときに、どう対処していいのかわからない方が多いのでは?どちらかといえば、無視するか、避けてとる。地域での啓発、教育的な周知、指導が必要と思います。地域では、当事者以外は無関心です。
24	差別はあります。困ったこと暮らしづらさも感じます。小さい頃から地域に密着し、健常者との関わりを多くもつこと、ここから全ての物事の解決策があるのではないのでしょうか?
25	65歳以上は介護保険優先とされているが、介護保険にて障害者の方達の対応が出来るのだろうか?施設入所支援を受けている方達は介護保険適用外。老化から疾病が誘発され、入院治療が必要となり施設退所する場合、施設支援はどこが行うのか。現実的に不安あり。
26	私は内部障害者で外面は分りづらいため、偏見されておりますのでとても辛いことが多いです。障害の定義を明確にしてほしい。内部障がいについて、誤解をまねかないようにしてほしい。
27	仕事、生活の中でまだ障がい者ですとは言いたくないです。私は、人の目が気になってどうしようもないです。
28	障害と認定されていない障がいのある若者(軽度発達障害と思われる)仕事についてもやめさせられてしまう。仕事に就けず収入がないので窃盗に手を染めてしまう現実があります。
29	私が日頃関わっている利用者は余儀なく施設に入所されています。24時間、365日…その生活が一生続いていくということは、それ自体、差別、虐待なのではないかと思えます。また、意見交換の中にもあったように、施設の中に第三者性を帯びた機関の設置は必要なのだと思えます。
30	正しい知識と理解がなされていない。障がいのある方の生活を知らない。
31	息子の「うつ」が進み、現在障害者手帳を受けています。身体障がいではないので、他の障がいより複雑なような気がします。で、軽い症状の状態のうちに、専門のドクター(薬だけのドクターではなく)との話し合うなど、軽度でやり過ぎせる仕組み(企業だけに任せるのではなく)ができればいいのになど思ったりするのです。

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしぶらいと感じたことに関する意見

No.	意見
32	市営住宅等の障害者に対する優遇措置がないこと。場所によっては、障がい者住宅にもかかわらず、同居家族が居ないと入居できない住居もある。また、道営住宅に至っては、障がい者住宅も少なく、建物に関しては「段差」が多く入居しづらい。 (帯広市に至っては、委託された不動産屋さんの入り口にスロープがなく、車いすの人は利用(相談)にも行けない。)
33	<ul style="list-style-type: none"> ● 全盲以外すぶる健康な障がい者は、元気なのが当然なのに65歳を超えただけに介護保険制度に転向を強いられ、元気な全盲者として介護サービスの受給資格が軽視されている。 ● 75歳になっていないのに、障がい者であるばかりに後期高齢者医療保険加入を強制され、国保で適用されていた障がい者世帯を取り上げられ、保険料は5倍以上になった。 ● 元気な全盲者は、介護制度上の通院介助は受けられず、障害者自立支援制度でも受給を拒否されている。
34	<ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶しても知らん顔で通りすぎる。 ● 家族の家から物珍しそうに窓からのぞき込む。
35	保健所、役所の区分で、この9月から介護4の区分を付けられ、生活介護になりました。そのため、通所のスタッフから、見下された発言をされてショックを受けた。
36	お金のやりくり。家賃や食費を払ったらほとんどない状態。お小遣いもって考えたら、お金がいくらあっても足りない。
37	差別を受けている 警察の署長や安心安全町づくりの協議会のチームの人たちが精神障がい者は問題を起こす人だ、危険な人だと見ている。町民の人たちから苦情が出る前に何とかしなくてはいけないと思っている。
38	就労していく上で病気になって働きづらくなったりしたことがありますが、職場の人に相談できずやめることが多かったです。
39	子どもの頃からいろんな機関に助けてもらってきました。なかなか自立して暮らすことが難しく、今も沢山の支援に助けられています。人ともなかなか適応できないことで、迷惑をかけてしまうことも多く、町の人たち、周りの人たちとのコミュニケーション(日頃の些細なことなど)がうまく取れないので仕事が続かなかったり、閉じこもりがちになってしまうことが課題です。
40	障がいをもつ方々の生活支援の体制を整える必要があるように感じています。
41	祭りの時に御輿の担ぎ手募集の時に断られて困った。
42	障がいの人たちの交流がなく、健康な人には話しても、なかなか話しはありません。この様な機会があつて、障がい者の話し合いがあると便利かと思えます。 障がい者の割引、色々分からない点があります。
43	まだ偏見、差別もあるので、精神障がいをもっていて、まだまだ理解できていないと思えます。地域の人達との関わりを大切にしていきたいなと思えます。
44	まだまだ精神障がいには「べてる」があつても、「べてる」という形で見られます。でもだんだんこの町に「べてる」も根付いていると思えます。
45	知識のない方による偏見がストレス。
46	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で何か問題(例えば、ゴミの分別、不審者)があると、障がい者がやったのではないかと目を向けられる。健丈者でも起こりえる問題なのに、最初に疑われるのは障害者。なんだかおかしい。 ● 障害者個人を差別する場合もあるが、施設として地域に差別されている場面もある気がする。 ● この条例は必要な条例。しかし、差別をしてはいけない、外傷が生じる行為をしてはいけない等、当たり前のことも条例にあげなければいけないのは悲しい世の中だと思う。
47	福祉サービスを利用するにも障害の程度が重いと、利用に制限があると感じます。この時代、就労に重点が置かれていて、就労に対する支援は充実されつつありますが、就労や訓練給付に当てはまらない重度の障害者が取り残されていく方向にあるのではないかと不安を感じます。福祉サービス事業所においても、重度の方よりも軽度の方を選んで就労へ結びつけたがるということがないように支援されたいと思えます。(サービス利用において難色を示される時は、ほとんどが支援員不足では..)
48	養護学校の進路支援をしていますが、重度の重複障がいのある方の地域生活への移行に苦慮しています。重複障害の方が安心して住めるケアホームはありませんし、日中活動、就労の場も限られています。「将来が不安だから施設入所を」という保護者もおられます。健常者が社会に出ることに比べると本人、保護者は大変な苦勞と不安を強いられています。
49	守られた場所(特定の)、守ってくれる人がいる所での生活といったところでは、整ってきているのかもしれませんが。しかし、本人が選択し、希望すること、場所での生きにくさ...では十分でないと思えます。当人がもっと地域に出て行けるような仕組みが必要かと思っています。必要なのは、当人の意向を代弁できる人材や就労や余暇や制度など、生きていくための支援をコーディネートできる人材の確保を望みます。就労を支援する人、余暇を支援する人、生活を支援する人...と、支援する人がそれぞれに分かれていると、その支援の方法や機関がバラバラで、その人が「生きていく、暮らしていく」ということが円滑にいくとは思えません。
50	町で暮らすと心遣いからか、いろいろ配慮してもらうことがあるが、それが逆に差別のように感じることもある。地域で当たり前のように悩み、苦勞する権利も保障してほしい。

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしづらさを感じたことに関する意見

No.	意見
51	障がいがあることで差別を受けている場面は何処であれ数多くあると思います。支援する立場から申し上げれば、障がいをもっているというだけで地域で暮らすことを地域住民から拒否されるということがあります。障がいをもっているが、その地域で暮らしたい、住んでいる町に自分も貢献したいという当事者の方の希望を、力を奪ってしまっていたのです。それは完全に障がいがあるという事への差別だと思っています。 しかし、地域住民の方々が悪いというわけではありません。その方々の立場に立って考えると、障がいがあるのかわからない、どう関わったらよいか不安だということもあります。そのためにも障がいに対する普及啓発、相手を受け入れ、認める、自身の存在も認め尊重してもらおうという意識を育てていけたら良いのかもしれません。何にせよ誰もが、安心して暮らせる社会を私は望みます。
52	様々な問題を抱えた当事者が、ケース会議もないまま、ただ施設定員に空きがあるというだけで入所してくる現実があります。
53	地域活動支援センターは各市町村に最低1カ所の設置が義務づけられているが、釧路市のように合併した新市では、合併前の旧町村部に何もサービスが無く、地域活動支援センターすらないという現状もある。合併しなければ、最低限地域活動支援センターは整備されていたことを考えれば、この状況自体が不当な差別ではないか。
54	就職して67日後、賃金が1/2になった。
55	今回参加したのはこれから子どもがどんな状況の未来が待っているのかが気になりました。現在感じている暮らしづらさは施設の種類によって手当が切られてしまうことです。寄宿舎に入所なら手当は切られなくて済み、養護児童施設になると手当は全て切られるなどのところですよ。
56	何事も当事者が出向かないと教えてくれず！！ホームページの載っていると云われたが、パソコンなし！！使えず！！
57	北海道、特に道東という地域は、人口に対して面積が広いという問題があります。その町である社会福祉事業ができて遠くへ行けない、家族が送らなくては無理、冬はダメ等々、都市部では考えられない問題が多いようです。このことは、サービスのみならず、社会資源全てにわたって強く暮らしづらさを感じます。
58	各地域の販売会など、出店したいと感じてた。地元企業、地元団体が優先され、なかなか実現できない。また、地域外に出店したときに関係者の方から利用者が居ると気になる、勝手に道路に出ないか、迷惑にならないかと聞かれることが多い。
59	精神科の病院では入院、退院の決定は医師であり、経営者が判断していることが多い。個人病院では特に多いと思う。従って退院したくてもできない人がいる。病院の中にも届く福祉を期待したいです。
60	日常的にいろいろな場面であると思います。(私は当事者ではないので、感じるのはいくつかもかもしれませんが)また、障がい種別によってもそういったことを感じる場合があります。特に民間の企業を利用する際にそういった場面に遭遇する事が多いようです。(不動産屋やスーパー、小売商店などの商業施設など) また、一方では、市町村で障がい種別によって本来保障されるべきサービスが利用できないというケースもあります。(精神にはヘルパーを派遣できないなど)この様な状況が早く改善されれば良いと思います。
61	特になし
62	金銭面
63	① 自立支援施行と共に釧路町の活動センターが設立したのですが、それはうれしいことと思いますが、ただ、自立支援施行したからつくるといのもおかしいことだと思いました。 ② 私は釧路町に住む弱視の視覚障がい者ですが、釧路市ではいくつかの事業所が移動支援も行っているかと思いますが、釧路町の方では、1事業所しか行っておらず、不便を感じることもあります。
64	自閉症の子どもがいるが、スーパーや公共施設を利用する場合、ほとんどの人が障がいの特性について知らないで迷惑がられる。家族だけの支援では、外出が困難である。
65	●就労の場所の少なさ ●障害者の就労での工賃、賃金の低さ ●地域生活に戻ったときの近所や周辺住民の方へ障がいを理解してもらうまで、ものすごく時間がかかる。
66	仕事、私生活で障害者、高齢者、子どもに関わりを持ちますが、精神障がい者に対しては差別はあると思います。私も精神障がいに関わる仕事をしていますが、周りに言うと「大丈夫なの」とか言われたりもしますが、テレビのニュースでも、まだまだ差別はあると思います。
67	ケアホーム(CH)での住居費が負担である。 福祉の現場での採算性とは何なのか。 どうして時間での仕事で、健常の人との工賃の差が出るのか
68	私は支援員ですが、障がいがあり体の不自由がある方がやる気をなくさせる言動や態度を知らずに使っている人を見て、今回タウンミーティングに参加してくれたら直してくれたかなと思う場面がありました。傷つけない言葉で話したときは、とても優しい顔で笑っていつもこもりがちの部屋から出てきてくれていました。本当に障がい者の方が安心して暮らせる生活が実現できる日を楽しみにしています。
69	GHで働いています。住人さん、皆が同じ立場であるということを含めて、住人さん同士は仲良く生活していると思いますが、世話をしている者のエゴが見えるのが気になります。話し方、接し方、慣れてくるとだんだん「横柄」になってる様な・・・。

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしづらと感じたことに関する意見

No.	意見
70	サポートしてくれる住民が少なく、何かあると困ると言われるなど、地域では暮らしづらい。現実的に身体障がい者は冬期間歩けない。足代わりの移送手段が少ない。
71	まったくない
72	私については差別等ではない。
73	●施設で暮らしています。部屋面積が狭くて衣類の収納や自分のスペースが少なくてかわいそうに思っています。 ●障害者の医療費が自己負担3割では大変に思います。
74	駐車スペースについて、明らかに健常者の方が利用している場合を見かけることが多い。駐車コーンを置いてあると、いざ車いすの方が利用しようとするときには使いづらい。何とかならないものかといつも感じています。
75	地域の人達の認識、理解の難しさを感じますそういう中で、自分たちの方から中に入る様にしていく事の大切さを感じ
76	就労する場所がない(地域格差)
77	どういったボランティアを利用できるか。どの様にボランティアの口を探せるのか。障害者なのに、障害年金をもらえない程度と言われてしまう。障がい者同士が気軽に集まれる、オープンサロンが江差には特に必要。
78	兄が精神障がい者。今はそうでもなくなったが、思春期の頃、兄のことを友人に隠すあまり友達が作れなくなり、大変孤独な青春を送った。のち、自分も精神障がいになった。
79	差別の勘違い 保育所において、他の子と同じ事を要求し、違うことをさせることは差別と見ている。周りの子や周りの保護者に説明がつかないらしい。支援者はそこをどの様に見ているのか。周りの人に理解できる話し方を学んでほしい。
80	子どものことなどで、差別は具体的には分りませんが、偏見などはあると思います。
81	困ることは、家族間で話し合いの中に入れてもらえない。条例の枠の中に入れてほしいと思う。聴覚障がい者としての差別があると思う。
82	仕事、コミュニケーションが不便、他人と平等に教えてくれない。
83	本人は、差別という意識はないが、その障がいについて「知らない」ことにより、結果として不利益を被っていることは多い。各障がいごとの周知の工夫が必要。
84	入所施設が少なく、入所まで数年、数十年待たないと入所できないと思っています。親も年齢がいくにつれて不安が大きくなってきております。
85	医療関係者から以前、介護認定の時大変嫌な言われ方をしたことがあります。いろんな認定において複数の医師や職員が当事者への配慮が必要だと思っています。
86	人口5千人未満の小さな町に住んでいます。決定的に不足しているのは、福祉サービスの社会資源です。函館市内と比較してみるとまるで月とすっぽんです。
87	私は、難病の当事者でもある地域活動支援センターの指導員です。治療法のない進行性の病気ですが、進行があまり進んでおらず、未だ健常者として暮らしています。「手帳」取得ができないため、障がい者(法的)になれないのです。福祉の仕事をしていると、「難病＝障がい者」「障がい者が福祉の仕事ができるわけがない」など、上司や同僚から差別を受けることが多いです。健常者にできて難病当事者の自分にはできないことがあります。また、配慮があれば仕事も生活もできるのですが、手帳もなく相談すら受付けてもらえず、何の支援も受けられません。難病者を障がい者として認め、支援体制の整備を進めていただきたいと思います。
88	自閉症を含む発達障害は、目には見えない障がいであるため、なかなか理解してもらえない。障がいの特性を分っていただくだけでも差別が軽減されると思う。
89	地方の住民で障がい者であってもなかなか就職ができません。少しでも地方にも仕事ができる場所がほしいものです。
90	特別支援学級に通う子供をもつ親は、学級の送迎が必要です。有料のサービスもありますが、経費がかさみます。家族の負担を減らす手立てがあればいいと思います。 差別ではありませんが、児童デイサービスを利用する場合、障がいの確定がされていなくても法律の関係で「障がい福祉サービス受給者証」の交付を受けなければなりません。未診断、未判定の2歳児の親は涙を流しながらサービスを利用した方もいました。児童デイの場合、「障害」の文言を是非外していただきたいと思います。
91	●電車に乗っていて、知能の低い子が乗っていたら目をそらしたい、そばを離れたりして、まるで汚い物を見るような目でいたこと。 ●仕事を教えるとき、仕事をさせるときも、最初からこれしかできないとか、最初からバカにしたような言葉を口にした人もいた。 ●エリートに多いのですが、仕事ができる人は、障がい者を見る目は薄ら笑いをしたり、最初から仕事を教えない、させない事、教えない人もいます。
92	子どもが通っている市の施設の対応が私には納得ができない。市にはここしか障害児の施設がなく、保健センターもこの施設に丸投げしています。障がい児を持つ先輩ママからは、不満があっても絶対に言ってはダメ、幼稚園や保育園、小学校に入る時に影響が出るからと言います。私が(児相に)相談していることを知って、施設の園長の私への風当たりが強くなり、他のお母さん達は私への園長からのひどいいじめだと言っている人もいました。その施設から、今年4月、個人情報をおの関係機関に流してもいいという了承にサインと印を押してくれとプリントが来ました。以前に聞かれたから、応えていると個人情報を流していたことを思うと不快だ。
93	人口の少ない津別町には障がい福祉サービスがなく、近隣の事業所に通所、入所している。これは差別といえる。どんな小さな町にも障がい者はいる。
94	網走は身体障がいの方の就労が進んでいるようです。活動の場所として精神障がいの方々の場所も確保されています。知的障がい、発達障がいに対しては両方とも薄く感じます。当事者と共に学校で獲得したスキルを落とさないために、パン作りをしています。一般就労に向けて、その活動を支援してくれる施策はないのでしょうか。

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしづらと感じたことに関する意見

No.	意見
95	福祉的就労をしている事業所で、施設等の清掃を請け負っているが、それらの施設のお客さんから(清掃作業をしている)利用者さんへの苦情が多い。理解不足。
96	地域の人への関心がない。
97	ユニバーサル、ノーマライゼーション等と言っても、結局、福祉関係者、当事者の中で終わってしまうことが多い。
98	一部不心得な者、医療関係者が法を悪用してひんしゆくを買っていてすべての障がい者が同じような利益を受けているように見られてしまう。厳正に処分し結果をマスコミに公表されなければ、本当に困っている障がい者の名誉は回復できない。
99	自分自身も含め、「障がい者は施設に」「家から出さない」政策が長く採られてきたことから障がいを持った自分の子どもを含め社会(地域)に存在が理解されていない感が強い。場合によっては、嫉の悪い親の子どものような目で見られるケースも多いのではないか。
100	路線バスの運転手が知的障がい者を知らずか、いやがっているのか？ドアを開けたまま止まったり、乗ったらすぐに発車して転んだりしたことがあります。
101	北見市はまだまだ障がい者にとって暮らしやすい場所ではないと感じています。まだたくさんの障がい者が在宅で天井を見つめる生活をしています。それは、ヘルパーを使うためにいろんな制限があり、地域に出る手段、方法がないからだと思います。福祉制度が、安全に介助が受けられる、安心して当事者も家族も生活ができるそういう制度に変わってほしい。
102	網走や北見近郊では、障害者が外に出られる環境が整っていない。バス、自動車には段差があり、ホームにはエレベーターもない。そういった移動やバリアフリーなどもなっていない。
103	飲食店や地域の施設がまだまだ入りにくく、使用しづらい場所が多くあります。入口、トイレなどのバリアフリーを進めてほしいです。
104	子どもが小さいとき、児童館へ行くときは保護者の付き添いが必要と言われたことがある。知的障がいがあるということは、こういうことなんだと実感させられた。
105	年金と賃金だけでは生活がきちんできれない。親の援助が必要。
106	地域、職場での認識が低すぎ
107	軽度の障がい者の方(一般就労はまだ難しい方)が年金がもらえず、事業所の給料だけで生活していかなければならず、もう少し障がいのある方を考慮してほしいと思いました。
108	障がい者に対する健常者の冷たい視線(特に若年者)
109	最近、車いす、足が悪く杖を使っている方達とJRを利用したときのこと。スロープの用意はしていただきましたが、「速く歩いて、もっと急いで」「自動車が出るでしょ」など、たくさんのことを言われました。もちろん本人は急いでいるのです。早くからJRの方にも相談をしていたのに。みんなの寂しそうな顔が残念でした。
110	施設入所者が親元に帰省した間、在宅サービスを使おうとすれば事業所と私的契約をしなければならず、帰省してもサービス等が受けれる対策を考えてほしいものです。
111	スーパー等で店員の方の障がい者への接し方が今ひとつと思います。その理由は、障がい者が出来ることまですべての面で援助している点です。もう少し店員さんができないことを援助することを徹底することが必要であると思います。
112	重症心身障害者で全面解除が必要な子どもと共に生活しています。市福祉事務所に相談したところ、親の用事で一時的なら日中一時支援を使うことができるが、事業所も満員の時もあり、その場合は他の事業所を探すよう言われたが、重度の障がいのある子どもの預け先を探すことが難しいことを福祉課の人は分っていないのが残念です。
113	特に精神障害者の場合、普通に元気に見えるため、近所では働きたくない怠け者のように思われたりするケースが多くあります。声を出せないで悩んでいる方がたくさんいることを真剣に受け止めていける環境づくりが大事。
114	障がいがあるとアパート、マンションなどの賃貸を断られるため、一人での生活が難しい。作業所職員になっているが、定年後どうしたらよいかなど、色々問題があって、障がいがあるととても暮らしづらい。
115	道内では高等養護学校が都市部ではなく過疎地にある。親の送迎、本人の馴れない寄宿舎生活、学校での実習企業が、就職の職場がないなど、合理的配慮が欠けているのではないかと。健常者の高校と同じ基準の配置を考えてほしい。
116	現在の成年後見制度は知的障がい者にとって現実のニーズに合っていない。知的障がいのある人は、財産管理よりも身上監護が大事。地域で、親から離れて暮らすとき、日常の支援が手厚く必要ですが、法律ではニーズにあった内容ではありません。成年後見制度に関しても道は国に働き掛けていってほしい。
117	障がい種別による格差
118	マッチング事業で「企業のイメージアップ」と書いてあるが、障がい者を雇うことがイメージアップになるということは、障がい者を雇うことが特別なことになってしまうのではないかと。
119	情報提供が十分にされていない。HPのみの提供だと、インターネットの環境にない人には見ることができない。
120	バス停まで遠いことが不便である。
121	障がいのある子の通学支援体制がないことに困っています。支援がなく、親抱えというのは、いかがなものでしょうか。
122	私の子どもは発達障がいがあります。中学卒業後は遠い高等養護学校に行かなければなりません。普通に生まれていたら、こんな大変な思い、負担をせずに育てて行けたのにと思うと悔しいと思うこともあります。どんな子どもにも、教育を育った地域で受ける権利があると思います。
123	障がい者が療育を受ける場が少ない。療育の場があっても、利用者で溢れていて、療育が受けづらい環境です。地域づくりの中に組み込んでいただけないでしょうか。
124	(差別ではないかと感じたこと等の事例は)ありました

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしづらさを感じたことに関する意見

No.	意見
125	障がい程度が軽度の障がい者も辛い思いをしているのに、重度の障害者に比べ、少し話せる、食事ができるということで軽く見られます。
126	アパートが借りにくい。
127	ローンが組めない。
128	病気の理解がなく、「変な人」と言われる。
129	路線バスが、地域によっては、障害者手帳の提示による割引がなされていない。
130	地方では公共施設がバリアフリー化されていないため社会参加ができない。
131	障がい者サービスが、年齢、疾患により介護保険サービスに移行した場合、サービス量が減らされる。
132	路上での車イス移動が困難。
133	室蘭市は、重度身体障がい者の移動支援事業を無料で行っているが、重度だけというのは差別ではないか。また、知らない人がいるというのは業務怠慢ではないか。
134	視覚障がい者はガイドヘルパー派遣事業を制限なく利用できるのに、全身性障がい者が同様に、無料、制限無く利用できないのは差別ではないか。
135	自閉症、知的障がいのある孫が、学校で見かけた子に「こんにちは」と声をかけても逃げられたり、無視されたりするのをよく見かける。
136	バス、地下鉄の中で蔑視の目が多い。声を出したり、ぴよんぴよん跳ねても、他人様を押す訳でもなく、ケガをさせる訳でもない。もの言わぬ差別が一番汚い。
137	養護学校の進路指導の時間に施設しか紹介されなかった。
138	JRや地下鉄を利用するときに「次の便でお願いします」と平気で言われる。
139	JRを利用したときに「もっと、前もって連絡しろ」と言われた。
140	地下鉄を利用するときにいちいち駅員に降りる駅と乗車位置を言わなければならない。
141	地下鉄の南北線、東豊線では、乗降の際の渡し板を用意してくれるが、下車駅を運転手に伝達するため、板の裏側に下車駅名を書いたマグネットが張られている。個人情報である下車駅名が他の人に見られるような位置に板が置かれることが腹立たしい。
142	空港で電動車いすのバッテリーを聞かれ、「ドライバッテリー」と答えたら、こんなの見たことないと言われ、「ウェットバッテリー」として処理された。どうして疑われなければならないのか、勝手な判断をするなら、何で質問するのか、バスを利用するとき、事前に予約しなければ乗れない。「障がいがあるから」予約しないと乗れないのは、不当な扱いだ。
143	
144	某ヘルパーステーションから介助を受けていた際自分の知らないところで記録が書かれ、ヘルパー間で共有されていた。まるで監視されているようで嫌だった。
145	同性介助を求めても提供者で男性はいないため、異性介助を強要された。
146	母親と同年代のヘルパーから介助を受けていた時、子ども扱いされ、希望や意見をまるで聞いてくれない。味付けの好みを言っても、私の味付けの方がおいしいと、ヘルパーの家の味付けを強要された。
147	不動産屋に行くど「何をしに来た」という態度、顔で見られる。
148	不動産屋で家を借りようとした時、「火事になったらどうするのか」「災害が起きたらどうするのか」など、子ども扱いされた。
149	車いすの私が、「車いすで入れる1階の部屋を探してほしい」と言っても、入口に階段があったり、車いすでは使えない幅の部屋を紹介される。
150	ヘルパーの時間数について市の担当課を訪問したところ、門前払いされた。
151	生まれた時から施設で暮らした人にとっては、施設で暮らすことが「当たり前」で、地域で暮らすことは「特別」だと感じている。この状況は異常だし、おかしいと思う。こういった障がい者だからこう生きなさいと言うのは不当で差別だと思ふ。これをやめてほしい。
152	施設は、数名の障がい者に対して1名の職員配置で重度な人ほど介助が受けられない。意思が表示できない重複障がい者に対して、食事介助の時に、ご飯も、味噌汁も、おかずも、時には薬も混ぜて食べさせることもあり、これが虐待と言わず何というのか！！
153	人手不足で障がい者が死んでも社会問題にもならず、隠蔽される。こんなことがあってはならないと思います。障がい者だから、迷惑だから死んでもいいなんて、あまりにもアンフェアだと思います。
154	車いすです利用できない公共交通機関がある。
155	車いすで入れない建物がある。
156	特別支援教育のあり方、地域での生活上のことすべてが普通であってほしい。
157	古くから建っているお店などは入口に段差があるところが多いように感じる。傾斜が強いのか緩いかは別として、スロープなどがあるなしでは違います。公共施設内でも、使用するのに変だと思ふことが多々あるような気がします。特に公共施設は建てて終わりではなく、当事者と検証するべきだと思ふ！
158	下肢障害があり、冬期間の外出に困難があるが、日常生活のサポートが必要なほどの障害ではないため、除雪や外出支援サービスを受けられない。地域でそういうことを頼める場所ができればよいと思う。
159	レストランに車いすで行った時、「混み合っているので長く待ちますよ」と言われた。数段の階段がある場所が空いたが、スロープがなかったためか、言外に「お断り」と言われた感じが不快であった。
160	電動車いすの申請書類が区役所で1ヶ月も止まっていた。
161	役所の人はこちらから聞かなければ、情報を教えてくれない。
162	給付費についても、こちらから言わないと増やしてもらえない。言えない人は、不便なままになってしまう。
163	仕事の関係で、鉄筋の現場に行くと、耳が聞こえないからダメだと言われた。
164	市町村間で考え方に差があることのないよう、今後指導してほしい。

「北海道障がい者条例」タウンミーティングにおける差別ではないかと感じたこと、困ったこと、暮らしづらさを感じたことに関する意見

No.	意見
165	重症心身障害をもつ子どもを20歳までは在宅で頑張りましたが、やむなく入所させて1年がたちます。施設に入所すると、介護給付は一切使えず、市も移動支援を全く認めてくれません。施設に入所していても、地域と接点を持ち続けるため、移動支援のようなものを認めてもらえるようにしてほしい。
166	うつ状態になると食事をとるのも大変です。ヘルパーが週に1回とかではなく、とういう時、食事をとるために集中的に毎日1時間ぐらい利用できるようにしてほしい。
167	就職活動の際、障害を理由に応募受け付けもしてくれない企業がある。
168	公共料金(の負担が大きい)
169	障害の程度に関わらず差別は常にある。今日の会議でも、意見を言うのに時間がかかる人たちに時間がないと言うことは？会場まで来る苦勞が分ってもらえていますか？
170	「これは差別だ」「暮らしづらさ」などを感じる場面はたくさんあります。しかし、その場ですぐに訴えるシステムが現状ではないと思うので、ここに書いてもすぐに解決されるのでしょうか？
171	就勞が難しい状況である。交通費については3級(精神障がい)にも福祉乗車証を与えてほしい。医療費を無料にしてほしい。
172	札幌そして北海道で精神障害者だけが差別されている。交通費、医療、就勞の中で差別が出ている。交通費なら運賃割引制度、医療ならば重度心身障害者医療助成制度、就勞ではハローワークでも一般でもとってくれない差別がある。就勞といえども基盤がなければ条例に沿っていないことになる。
173	福祉交通制度について、身体、知的障がい者は、96,000円分の福祉ウイズユウカードが支給されるのに、精神障がい者3級の方は43,000円分しか支給されない。これは差別だと思います。
174	障がい福祉サービスの支給量が国庫基準によって事実上「上限」があり、生きるために必要なサービスが受けられず、今、難民状態になっている障がい当事者がおり、その緊急性と危機感を道が認識していないのではないかと感じます。
175	目に見える部分以上に目に見えない部分が多くあると思います。相手などから発せられる一言、外出時の偏見の眼差しなどが暮らしづらさを一番感じるところではないでしょうか。
176	バリアフリーの徹底(飲食店関係)
177	障がい者だけ給料が低い
178	施設内の障害者の困り込み。職員の生活が中心となっている。
179	地域の受け皿がないことが差別につながる。
180	24時間ケアが必要であるため、それができる施設入所を選択する権利もあるのではないのでしょうか。
181	町に出ても「あの人障がい者よ」と冷たい目で見られたら、元氣は湧かない。
182	人間として生まれてきたのに、障がいがあるがために差別されてきました。是非一日も早くこの条例を実行してください。期待しています。
183	「身体が弱ったら施設に入れ」と言われた。
184	障がい者支援施設職員です。国の基準は満たした職員配置がされているが、まだまだ充分とはいえず、利用者は自分の頼みたいことを我慢したり、職員の働く様子を見ながら頼んでいる状況。食事、排泄等の最低限の介護に追われ、話しを聞いてほしい、部屋を片付けてほしい等のニーズには対応できていないのが現状です。
185	働ける場が少ない。少し考え方を変えれば働けそうな職場であっても、企業側に障がい者を雇用しようという動きがないため働けないことがある。
186	障がい3級の交通費補助が少ない。使う機会が多い3級もフリーパスにしてほしい。